

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 松原市立三宅小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒580-0046

大阪府松原市三宅中2丁目14番21号

E-mail : miyake@matsubara.e-kokoro.ed.jp

Website : http://www.e-kokoro.ed.jp/matsubara/miyake/index.html

児童生徒数：男子 157名 女子 166名 合計 323名

児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① はじめに

本校のある松原市は大阪府の中南部に位置し、大阪市や堺市などの都市に囲まれた人口12万4千人あまりの衛星都市である。本校の校区は、その松原市の北部に位置し、大阪市に隣接した住宅や工場、倉庫などが多い都市地域であるが、古くから農業のさかんな地域である。三宅神社など伝統的な施設もあり、歴史のある地域である。

しかし、ここ20年、開発が進み阪神高速等高速道路網も整備され、かつては地域に多く占めていた田畑も面積が減少してきている。

これに対して、地域では三宅土地改良区が中心となって田畑の基盤整備を行い、近郊農業に取り組んできた。

本年度に創立140周年を迎えた本校では、地域の伝統文化や稲作体験を学ぶ学習や地球規模の環境問題から地域の環境保全を考える環境教育に取り組んできた。さらに本校で長年継続して実践してきた支援教育や人権教育、国際理解教育の実践を基に、ユネスコスクールとして子ども達を持続可能な社会の担い手として育む視点を大切にしている。

② 5年農業体験

5年生では、本校の学習農園において土地改良区・農協の支援を受け、農業体験を行っている。稲作体験だけでなく、その後餅つき、しめ縄作り等を行い、地域の伝統文化に触れる取り組みも行った。

10年前からスタートした農業体験であるが、平成23年度に学習農園の名前を「田ンポーズ」と命名し、平成24年度には児童が農園のマスコット「こめたくん」を作成した。本年度は創立140周年を記念して「こめたくん」を全校児童で運動場に形づくるなど、本校のキャラクターとして子どもたちや地域の方に定着している。

本年度も5月20日(火)に、三宅町土地改良区や農協から来ていただいて5年生で米づくり説明会を行った。6年生代表が参加して、昨年度の体験を丁寧に説明してくれたことで子どもたちも1年間の見通しを持つことができた。その後、5年生は田んぼの草抜きを手伝ったあと、6月4日(火)に田植えを行った。

本年度も、市内の阪南大学から数名の留学生が参加してくれ米作りを通じた国際交流も初めて行うことができた。子どもたちが留学生と英語を通じたコミュニケーションがことも大きかったが、米作りや和食の文化について留学生から高い評価をしてもらい、日本の農業や食文化の良さを再確認することができた。

その後、夏休みをはさんで子どもたちは、田んぼの草抜きの手伝いを行った。そして、7月に入って案山子づくりを学年で行った。班ごとに手作りで工夫を凝らした案山子を製作し、7月末の暑い日に案山子を設置した。8月には防虫ネットの設置を手伝い、9月には案山子の撤去を行う中で、秋になると稲も順調に育った。

今年の稲刈りの日は、10月8日(水)。当日は、三宅町土地改良区や農協松原営農センターの方々に大変お世話になった。子どもたちに優しく稲刈りの方法を教えていただいた。また、田植えの時と同じように、阪南大学の留学生も参加してくれ、終了後も各教室で子どもたちと楽しく交流することができた。

その後、刈ったお米の精米や袋詰めは土地改良区でもらい、コマタくんのキャラクターのシールを貼ったきれいな袋に入った「田ンポーズ米」ができあがったのである。

11月20日(木)午後、5年生が親子交流会で三宅っ子の米作り「収穫を祝う会」を行った。第一部は、三宅町土地改良区理事長のお話のあと、5年生が、米作りと林間のDVD上映を行い、米作りの感想を話してくれた。理事長から収穫米をいただき、5年生は、参加していただいた地域の方々や保護者の方に「南中ソーラン」を披露した。第二部は、PTA学級委員の皆さんが中心になっておこわをおにぎりして食べることもできた。

11月8日(土)には、松原中央公園で「食」をテーマにした地産地消のフェア「第5回まつばらマルシェ」が行われた。5年生の子どもたちは学習農園で収穫したもち米を販売し、ブースでは本校の学習農園でのお米作りを紹介した展示とビデオ上映を行った。

12月5日(金)には、地域の土地改良区など学習農園推進協議会の方に来ていただき、5年生にしめ縄・リースづくりを教えてもらった。昔はどこのお家でも玄関などに飾っていたしめ縄。子どもたちは地域の方に教わりながら、一生懸命作った。6月田植え、10月稲刈り、11月収穫祭と続いたお米作りの一連の取組みのまとめとなった。

③6年ナラクエスト

6年生においては、地域に住む外国人の方や校区にある府立松原高校の留学生との交流活動を行っている。平成19年度から文部科学省の委嘱を受け、英語活動の先進的なカリキュラム作りを進めたが、1年から6年生まで、英語活動と国際理解学習とのコラボレーションを進め、ALTによる英語活動の体験学習と、国際理解学習の体験・聞き取り学習を行っている。そしてこれらの学習・体験の集約の場として、6年生が遠足で行く古都奈良において外国観光者とコミュニケーション活動を行うプロジェクト型学習である「ナラクエスト」という取組みを実施してきた。

平成26年度は5月22日(木)、6年生は、秋の遠足で奈良公園・東大寺に出かけた。午前中は校園や社寺の見学を行い、午後は、東大寺の前で、「ナラクエスト」として、外国の人と英語でコミュニケーションを行った。子どもたちは最初緊張していましたが、途中から外国の方としっかりと話かけることができた。最後に、お礼に子どもたちが作った折り紙と本校のリーフレット(英文)を手渡した。外国の方も日本の小学生ということでやさしく接してもらい、子どもたちは外国からの観光客との会話を楽しむことができた。今年度は、交流をしたオーストラリアのキャンベル市から旅行に来られた家族の方からお礼のお手紙と絵本を送っていただいた。5年生にとってはうれしいニュースであり、お礼の手紙を書き、担任が翻訳をして返事を送ることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）